



TX記念 第8回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ
めざせ！！「木工の技」チャンピオン部門 実施要項

1 目 的 中学生による，木によるものづくりの技能，技術を競う全国レベルの大会を設け，生徒一人一人がもつ，中学校技術・家庭科で学習したものづくりの技術・技能を発揮する場とする。そして，木によるものづくり学習への意欲や希望，ものづくり創造の夢を与え，中学生のものづくり交流の場とする。
また，プレゼンテーション能力の向上を図り，ものづくりの技能のみならず，自分の考えを分かりやすく表現でき，広く社会に関われる人材を育成する。

2 主 催 神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会

3 共 催 毎日新聞社

4 後援（予定） 神奈川県
神奈川県教育委員会
社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会
神奈川県公立中学校教育研究会
横浜国立大学教育人間科学部 木材加工研究室
株式会社 トップマン（返事待ち）

5 日 程

（1）予 選 締 切 平成19年10月5日（金）

（2）神奈川県大会 平成19年11月3日（土）

8：40 集合受付【アリーナ玄関】 2F多目的室へ
9：00 全体開会式【視聴覚室】
9：50 準備・事前説明【4F木工室】
10：00 前半製作競技開始（120分）
12：00 昼食・休憩
13：00 説明
13：10 製作競技開始（120分）
15：10 製作競技終了 諸連絡 会場移動
15：20 プレゼンテーション【視聴覚室】（40分）
16：00 審査会【4F金工室】
17：00 解散・片付け

平成19年11月4日（日）

9：00 結果発表【視聴覚室】
13：30 表彰式・閉会式【視聴覚室】
14：30 終了・解散

6 会 場 神奈川県大和市立渋谷中学校
競技会場：4階 木工室
プレゼンテーション会場：3階 視聴覚室
〒242-0015 大和市下和田4-9
TEL 046-267-1104 FAX 046-268-3989

7 参加資格 次の(1),(2)を満たす者。
(1) 神奈川県内の国公私立中学校に在籍する中学校1～3年生で、
校長が参加を認めた者。
(2) 平成20年1月26日(土), 27日(日)に開催されるTX
記念第8回全国中学生創造・ものづくり教育フェアへ参加するこ
とが可能である者。

8 費 用 参加費は無料。
交通費・宿泊費等は、学校負担(個人負担)とする。

9 競技内容

(1) 予選(1校からの参加人数は、3名以内をお願いします。)

次の図に示す規定作品を製作する。(競技内容・審査内容)

- ・簡単な規定課題の製作を通して、技能(スキル)を評価する。
- ・規定課題の製作を通して、かんな削り・のこぎりびき・のみの技能を評価する。
- ・作品の完成度を評価する。

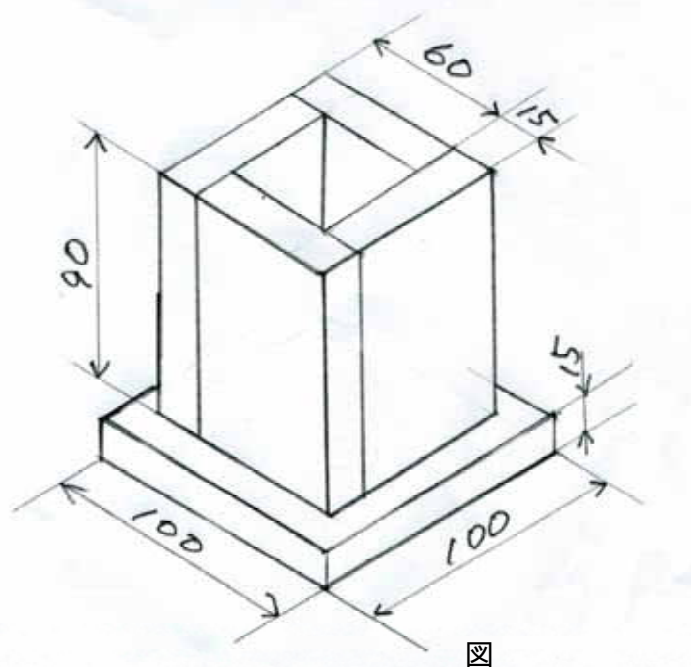
材料・工具等

- ・材料については、

パイン集成材 15×100×500

- ・使用する工具については、次の工具を必要に応じて使用してもよい。

さしがね，直角定規，けびき，両刃のこぎり，平かんな，げんのう，のみ
四つ目ぎり，はたがね，クランプ，削り台，紙ヤスリ，鉛筆，消しゴム，鉛筆削り
鉄丸釘N32(16本)



図

申 込 先 神奈川県公立中学校教育研究会
 技術・家庭研究部会 技術部長
 〒229-0204 相模原市藤野町小淵2082
 相模原市立藤野中学校 総括教諭 杉本 祐一
 TEL 042-687-3019 FAX 042-687-5897

申込方法 所定の用紙に必要事項を記入し，出場生徒該当校長の承認を経て申し込むこと。

- ア 参加応募書 (県技家研Web ページより)
- イ 予選規定作品 (材料費及び郵送費は，参加校負担)

(2) 神奈川県大会 最大18名(予選に参加した者より選抜する。)
 大会事務局より参加校へ連絡いたします。

競技内容

- ・ の課題を読み取り，240分以内で創意工夫を加えながら作品製作を行う。
 - ・ 作業の段取り，手際，創意工夫，工具の選択等を評価・採点します。
- 普段の生活の中で整理したいと思っている物を各自で選択し，その生活用品をアイテムとする。前回全国大会で課題となっていたCDや教科書なども選んでもよい。アイテムは大会当日持参する。

配布材料樹種は，檜材とし，

長さ900 mm・幅200 mm・厚さ15 mmの板材を2枚配布する。

提出物

構想図をA4サイズ方眼紙横むきに，キャビネット図もしくは等角図(寸法も入れる)でかき，大会当日_____部持参し，受付に提出する。

<p>A4サイズ方眼紙横むき</p>	<p>構想のポイント (具体的な内容を記入する)</p>
<p>コンピュータの利用・手書きは問いません。 尺度は気にしなくて結構です。 寸法理解のために，部品図を添付してもよい。</p>	
氏名	作品名
競技番号	所属学校名

プレゼンテーション

- ・ 競技者一人あたり2分の持ち時間でプレゼンテーションする。
- ・ 作品の使用法，工夫点，作品への夢，願い等をアピールする。
 (製作条件をどのように取り入れたか。
 作品の工夫点・使用法・アピールしたいこと)

評 価

評価基準については、全国大会に準じて行う。

会場準備工具

さしがね，けびき，くぎ抜き，げんのう，四つ目ぎり，はたがね
Cクランプ，削り台，紙やすり（研磨紙），作業台に付属する万力，端材
両刃のこぎり，平かんな，追入のみ（9mm・15mm），木工用ボンド，丸釘
鉛筆（赤鉛筆を含む），鉛筆削り，消しゴム
タオル，バケツ，箒，ちりとり

これら大会運営本部で用意した工具等，支給材料及び競技室設備・備品以外の物の使用を禁止する。

大会に関する情報は県技・家研ホームページにて確認して下さい。

- 10 表 彰 神奈川県知事賞（1位：関東大会推薦）
神奈川県教育長賞（2位：関東大会推薦）
神奈川県中学校文化連盟会長賞（3位：関東大会推薦）
社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会会長賞

11 審査委員

委員長：川原田 康 文（横浜国立大学教育人間学部準教授）
副委員長：
委員：永 田 薫 （神奈川県技・家研部会長）

関係各方面へ依頼中

- 12 その他 （1）大会期間中の負傷については応急処置のみ行う。
（2）ホームページアドレス（神奈川県中学校技術・家庭科研究会）
URL <http://gikaken.com/>
e-mail kanagawa@ajgika.ne.jp

評価の観点

評価の観点は、以下のA～Dの4項目とする。

A 創意工夫

作品に創意工夫があるか。

- (1) 作品に形態，構造，機能などの点で創意工夫があるか。
- (2) 与えられた材料を過不足なく有効，合理的に使用しているか。
- (3) 与えられた条件を満たした創意工夫があるか。

B 製作態度

安全に留意して合理的に作業を進めているか。

- (1) 安全に留意して作業を進めているか。
- (2) 工具を合理的で丁寧に扱っているか。
- (3) 合理的な手順で作業を進めているか。

C 製作技能

材料の固定，工具の持ち方，作業身体動作等，工具の合理的な使用に関する知識と技能を修得しているか。

- (1) のこぎりの使用に関する知識と技能を修得しているか。
- (2) かなの使用に関する知識と技能を修得しているか。
- (3) げんのうの使用に関する知識と技能を修得しているか。
- (4) のみの使用に関する知識と技能を習得しているか。
- (5) その他の工具の使用に関する知識と技能を修得しているか。

D 作品の精度

作品の仕上がり精度・材料の使用法がよいか。

- (1) 部材の寸法が正しく，接合面に目違いがないか。
- (2) 作品の角度は正しいか。
- (3) 表面がきれいに仕上がっているか。
(逆目ぼれ，端欠け，かなまくら，耳立ち，くぎの突出，げんのうによる打撃痕等)
- (4) 各部材の合理的な使用がなされているか。
(木目による繊維方向等)

歴代入賞者（関東大会推薦者・敬称略）

	最優秀技術賞	優秀技術賞	神奈川県会長賞 (優良技能賞)
第1回	競技会実施せず		
第2回	県大会実施せず		
第3回	新田 哲也 (横須賀・鴨居中2)	澤田 真人 (横須賀・鴨居中2)	仁科 素良 (川崎・南加瀬中3)
第4回	渡壁 航平 (川崎・南加瀬中3)	新田 哲也 (横須賀・鴨居中3)	山崎 龍人 (横須賀・鴨居中3)
第5回	木下 大地 (平塚・江陽中3)	瀧川 敦夫 (横須賀・常葉中3)	山本 康敬 (横須賀・常葉中3)
第6回	高野 陽史 (横須賀・常葉中2)	原 翔馬 (横須賀・常葉中2)	柳 大介 (横浜・国大附属中2)
	神奈川県知事賞	神奈川県教育長賞	神奈川県中学校 文化連盟会長賞
第7回	高橋 朋之 (川崎・今井中3)	古賀 英太郎 (川崎・今井中3)	高野 陽史 (横須賀・常葉中3)
第8回			